

第17回定期総会

地協役員OB会の結成など今年1年の課題を確認

大阪シニアクラブ事務局長 田井中藤男

JAM大阪シニアクラブは、9月9日（土）午後3時から、JAM西日本会館6階ホールで、会員、役員、来賓、現役書記局を含め64名の参加で第17回年次総会を開催した。

総会は、山田通広氏（元若山精密）を議長に選任し、森本代表幹事の主催者挨拶の後、来賓として出席された、本部シニアクラブ大山会長、大阪退職者連合有元会長、現役組織より中井書記長、組織内議員団代表の中武貞勝枚方市会議員、民進党大阪府連から代表の平野博文衆議院議員から挨拶を受け、議長からは大会に寄せられた田中ひさやJAM参議院予定候補者のメッセージが披露された。

総会では、今後1年間の課題として、① 既に結成済みの市内南・市内北・堺阪南地協役員OB会に続いて、現役組織の理解を得て、大阪府下6地協総てに地協OBを結成することを確認。② 平和を守る運動について、戦後生まれの世代が人口の8割を占め、未来に再び過ちをおこさないため、世代を超えた平和運動を進めること。③ 社会保障制度の改悪阻止にむけて、退職者連合、大退連と共に政策制度、地方自治体への要請行動を強める、ことを確認した。また、次期役員体制については現役員が全員留任することを確認した。

総会終了後、参加者全員で記念写真を撮り、現役の書記局11名も参加して、和やかなうちに交流会は進められ、総会は成功裏に終了した。



